

宮陵会報

# KyU-Ryo

No.85

2007・12

発行責任者  
社団法人 宮陵会  
広報委員会

---

〒221-0802  
横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
神奈川大学内  
TEL 045-481-5661  
(内線 2451~3)  
FAX 045-413-0791  
印刷所 株式会社 江森印刷所

記念講演  
田嶋和夫工学部教授



記念式典



特別表彰 世界で活躍する選手たちに

## 祝 宮陵会設立70周年 記念大会開催される

平成19年10月20日(土)



記念祝賀会

### Contents No.85

- 宮陵会設立70周年記念大会開催される … 2
- 記念講演/祝賀会 …………… 3
- 全国支部長会議開催される …………… 3
- 箱根駅伝予選会観戦記 …………… 5
- 本部だより …………… 5
- 支部だより …………… 6
- 大学ニュース …………… 7
- 神大フェスタ・平塚祭開催される …… 7
- 準会員ニュース …………… 8



特別感謝表彰 親子三代会員



# 宮陵会設立七十周年記念大会開催

平成十九年十月二十日(土)、母校セレスホール(16号館)において、宮陵会設立七十周年の記念式典が執り行われた。

来賓として白井宏尚学校法人神奈川大学理事長、中島三千男神奈川大学学長、鈴木正太郎神奈川大学後援会会長、貝田泰雄学校法人神奈川大学常務理事、池上和夫神奈川大学副学長、川大学常務理事、高橋規則学校法人神奈川大学事務局長を迎え、まず神奈川大学混声合唱団クルアンジェのリードで出席者全員にて横浜専門学校校歌ならびに神奈川大学校歌を斉唱した。次に狩野七郎宮陵会会長による式辞の後、白井理事長の祝辞および中島学長の祝辞を賜り、続いて七十周年記念感謝表彰が行われた。表彰された方々は左表の通り。受賞者を代表して菅原

甚左衛門元東北ブロック長の謝辞をもって第一部は終了した。

第二部は田嶋和夫神奈川大学工学部教授による「三相乳化技術の開発により誕生した未来環境対応型スーパーエマルション燃料」と題した記念講演会が行われた。

第三部は会場をラックスホール(19号館)に移し、記念祝賀会が開催された。新井三夫宮陵会副会長の挨拶、鈴木正太郎神奈川大学後援会会長の祝辞の後、松倉昭二宮陵会参与の音頭で乾杯にて祝宴に入る。

神奈川大学管弦楽団の演奏の中での歓談も時が至り、小林保博宮城支部長のエールにて応援歌斉唱、武笠宮陵会副会長の中締めにて盛会裏に終了した。

# 狩野七郎会長式辞



はじめ多くの方々のご臨席を賜りまして、まことにありがとうございます。また全国から大勢の支部長さん方にご参加いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

私は本年、会長として二期目を仰せつかりました。二年を経過しまして、この七十周年の節目にあたるということには全く考えていなかったわけですが、たいへん幸せな立場だと思っております。本日、配布いたしました宮陵会略年表を見ますと、一九三七年の専門学校時代に同窓会が設立されたということが記されております。ちなみに来年は大学創立八十周年記念式典が行われるということですので、十年そこそこの年数で同窓会ができたということになります。

この七十周年を私なりに考えてみました。一九三七年と申しますと昭和十二年でありました。私は一九三二年生まれですから、五歳のころでした。私は物事を判断するとき、自分が生まれた一九三二年を基準によく考えるのですが、昭和十二年という支那事変の始まった年でありまして、あれからずっと戦争で、自分を考えるとまさに軍国少年だったなあと感じます。そして、私は人数はよくわかりませんが大勢の先輩の同窓生が戦場で散ったという事実があります。そういうたいへん不幸な時代がありました。

終戦後、横浜に米軍の進駐がありました。東神奈川から見ますと、神奈川通りから全部、関内を含めてかまぼこ兵舎の野つ原だったわけがあります。

私は昭和二十六年に入学し、学制も改革になりました。そのころの米田吉盛学長先生は、たいへん元気な時代でありました。よく学生と膝詰めで話をさせていただきました。昭和三十年に卒業後、社会に出て大学にかかわることとは少なくなりましたが、国の経済的な隆盛とともに何とか今日まで来たわけでありまして、これはもう、そういう時代を乗り越えた大先輩方の並々ならぬお力によるもので、日本としても歴史に残る時代を一生懸命にやって母校のためにお励みいただいた結果、この七十周年を迎えたと思っております。

幸いにして、教学の先生方も一緒に協力いただいた結果、現在では偏差値の高い大学になったそうです。今は入学希望者も非常に多いそうでもあります。しかし、果たしてこのまま進むのかどうか。これはなかなか難しい問題だと思っております。したがって、大学も教員も宮陵会も一つになって母校繁栄のために努力しなければいけないと考えます。そのためにも私どもは、どういう形で宮陵会を盛り上げ、会則にもありますように大学の繁栄に貢献できるか、これをみんなで考えていかないとはいえないと思っております。

七十年といいますが間もなく百年になります。その時、私はいないのですが(笑)、"神奈川大学は本当にいい学校だ。卒業生はすごいよ"と言われるような宮陵会づくりに励みたいと私も思います。反省をするこの機会を与えられたわけですから、どうかみんなで一緒にがんばっていきましょう。簡単でございますけれども、式典にあたり挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

## 表彰者芳名

### 【感謝表彰】

- ブロック会議議長 菅原甚左衛門 東北ブロック
- 津田 滋 九州ブロック
- 永年感謝表彰役員 秋田 琢次
- 西森 秀明 役員25年以上
- 武笠 健次
- 永年感謝表彰元事務職員 菅野 生子 28年勤続

### 【特別感謝表彰】

- 親子三代会員
- 佐藤様ご家族 仙台市  
佐藤與三(15商)・重夫(45経)・重孝(平16経)様
- 高本様ご家族 北九州市  
高本精之(22機)・陽一(53法)・明音(経済4年)様
- 中村様ご家族 北九州市  
中村全亨(12貿)・文彦(42電)・仁(平12電)様

### 【特別表彰】

- レスリング部 峯村 亮 優勝
- 世界ジュニアオリンピック
- 陸上競技部 豊田 崇
- ユニバーシアード大会
- ハーフマラソンの部 銅メダル
- 水泳部 種田 恵
- 日本学生選手権水泳競技大会
- 女子平泳ぎ200m 日本記録樹立
- 吹奏楽部 全日本吹奏楽コンクール
- 通算20回 金賞

記念講演

講師 田嶋和夫 神奈川大学工学部教授  
CTO 最高技術責任者  
演題 「三相乳化技術」の開発により誕生した未来環境対応型のスーパーエマルジョン燃料

先生はプロジェクトを駆使されて門外漢にも解り易く、一時間にわたり講演されました。この燃料については、先般松沢神奈川県知事が見学の為、来校されました。

三相乳化法は界面活性剤の代わりに柔らかい親水性ナノ粒子の物理的作用力(ファンデルワールス引力)を利用した新しい乳化法で従来の乳化法とは全く違うアプローチに基づくもので広範囲の産業分野に活かして環境適応型エマルジョンを作ることが出来ます。

三相乳化法で作られたエマルジョン燃料は燃料に水を添加して乳化することで排気ガス中の有害成分を大きく削減し、30tダンプ車の実車走行実験の際、NOxとPMを同時に80%以上削減、燃料消費率も10〜15%向上させ、安定性・燃焼性に優れているとの結果を得ました。この結果は国土交通省の次期排出ガス規制をクリアすると共に燃費向上によりエネルギー消費量、CO2排出量の削減が可能となり、京都議定書数値目標達成へ大きく貢献できます。更にこの技術は肌に優しい化粧品、少量でも吸着・固定する印刷液、30日経過しても油と液体が分離しない食品、雨水による流失が少なく、作用の持続的効果がある農薬ほか医薬、潤滑剤、塗料、熱媒体用流体等、様々な分野への応用が可能です。



祝賀会



あちこちで発していた。

祝賀会開会の挨拶の中で、新井宮陵会副会長は、「本日の何よりものお土産は、箱根駅伝予選会での快挙である。後輩の健闘に感謝したい・・・」と話された。続いての来賓祝辞で鈴木正太郎後援会会長は、「特に、遠くロサンゼルスやバンコクからの参加の皆様にはお疲れ様でした。感謝申し上げます。また全国各地で行われている父母懇談会にもぜひ出席して、意見をいただき、神大と一緒に育てて欲しい・・・」と挨拶された。

乾杯は、松倉昭二参与の発声で会場いっぱい「乾杯!」の声で包まれた。各所に談笑の輪ができ、北海道から九州までそれぞれ普段の宮陵会活動など話題は尽きない様子で、せっかくのアトラクション、神奈川大学管弦楽団の演奏もかき消されんばかりであった。

先輩と後輩、それに学校関係者、一堂に会しての宴もやがて閉会の時を迎え、小林東北ブロック長のここぞとばかりの応援団エールと全員での校歌斉唱の後、武笠副会長の中締めで母校と宮陵会の発展を誓い、わきあいあいの祝賀会を散会した。

第三部は、

場所をラックスホールに移し、記念祝賀会が開催された。セレストホールから、校内を歩いて会場への途中、参加者は左右を眺めながら、当時との変わりように一様に感嘆の声を

全国支部長会議開催される

本年は、「ブロック会議の現況と今後のブロック組織化」をテーマに、勇真一郎組織委員長の下で進行により、北海道から九州までの六ブロックの議長より報告の後、会議に入った。

北海道ブロック



北海道ブロック副支部長 坂元 真尚  
ただ今、ご紹介にあずかりました苦小牧支部の坂元井さんもご出席いただき、たいへんご協力をいただきました。あらためてお礼申し上げます。

東北ブロック



宮城支部長 小林 保博  
宮城支部の小林でございます。今、東北ブロックの会長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

昨年七月、北海道ブロックの第九回のブロック会議を開催いたしました。開催にあたりましてはここにおられる狩野会長、理事長の白井さんもご出席いただき、たいへんご協力をいただきました。あらためてお礼申し上げます。北海道は広いのですが、札幌、函館、旭川、北見、帯広、室蘭、苦小牧の七支部で構成されており、昨年の支部長会議ではお二方のご来賓に挨拶をいただいた後、各ブロックの代表者から現況を順次ご報告していただき、その後、会員からの質問も受け、無事終了したわけではあります。

苦小牧は今、人口十七万人で、市制六十周年になります。宮陵会は七十周年ということですから、私が生まれる前からできているということですから、あらためて敬服している次第であります。当支部は年齢的にもやはり逆ピラミッド現象は否めません。若年層が少ないということでも我々も日々苦勞しているところでもあります。札幌支部は我々とは規模が違いますが、ローカルの我々としてはみな同じ悩みを持っていると思います。今後、我々も方もますます努力して、宮陵会の発展、大学の発展のために協力していきたいと思っております。

簡単ではありますが最初の挨拶とさせていただきます。

二年に発足いたしました。今回、秋田でやるのが第二十一回のブロック会議になります。昨年は山形で開催し、そのときには大学の関係者にもたくさん来ていただきました。この東北ブロックは非常に広うございます。特にこの何年か苦勞されたのは青森地区、福島地区です。福島も非常に広うございます。海通り、中通り、山通りの三つがありまして、なかなか一緒にやるということは難しいようです。でも、福島もこの間の選挙で県知事になりました佐藤君が神奈川大学出身ということも、もう少し、力を入れてもらおうじゃないか、これから福島の方もかなり力を入れてくるんじゃないかと思っております。青森地区から今日は山岸支部長がきておりますが、この青森も八戸あり青森市あり、いろいろ広いものですから、ブロックに分けて会議をするような形に持って行ったほうがいいのではないかと。そういうことで、ここ数年かけていちはん心配していただきました青森と福島が何とかブロックを立ち上げるようになってきたことは喜ばしいことでもあります。

その他、岩手、秋田は私より大ベテランの支部長がいますので非常に安心しております。宮城支部は前の支部長の菅原甚左衛門さんが十九年間、東北ブロックの支部長をやって来

られ、非常に尽力されました。本日は表彰されるようでございます。私はまだ二年目でございます。まだまだこれから頑張りたいと思っております。今年十一月に総会を開催します。百人近く集めて、デカい声で応援歌でも歌いたいと思っております。

■北陸ブロック

富山支部長



松岡 邦兆

富山支部の松岡です。今年本報からの感謝状をいただきました。誠にありがとうございます。先週の木曜日に福井の総会、ブロック会議の席上で表彰状をいただきました。私は昭和三十四年の当時の法経学部の経済学科卒業でございます。平成六年から富山支部長を拝命しております。二代目でございます。

その間、支部長を受けまして二、三年後に四十周年記念総会を、そして昨年、五十周年記念総会を行いました。同時に北陸ブロック会議も開催しているわけでございます。

北陸ブロック会議はご存じのように富山、石川、福井、この三県で平成八年からスタートしました。昨年は第十一回、今年は先週、第十二回を福井で行いました。

私どものブロック会議は、まず宮陵会本部から、そして、大学の常務理事の自己紹介、北陸三県の約十六名の自己紹介をいたします。ブロック会議の時間は三十分しかとってないものですから、大体その辺で話が終わります。現況報告も一人二、三分という形で終わってまいります。ですから、じっくり協議する場がありません。今後の課題といたしまして、支部長、幹事長、三役を含めて三県で何をやるかといった相談もしなければいけないんじゃないかなと考えております。今年度の福井の北陸ブロック会議につきましては、北陸三県に、案として新潟、長野、北信越という形になるのですが、その合同の集まりの提案をいたしました。長野の南信のほうで支部として確立されていないということで、本部

から「待った」がかかりました。その返事待ちにしております。そんなことで報告を終わります。

■近畿ブロック

奈良支部長



山本 義弘

私は昭和三十九年に法律学科を卒業しました山本と申します。本日は近畿からはブロック会議の会長の大坂の根来支部長、兵庫、和歌山、京滋のそれぞれの支部長がお見えになっていますが、その中で、近畿でいちばん小さな奈良支部が報告を担当することになり、大変恐縮しております。これは本部の意向で、昨年度ブロック会議を開催した支部が報告をせよということでございますので、それに従っております。

ご案内の通り、近畿は六府県ということですが、京都と滋賀が一つの支部となっておりまして五府県五支部でブロック会議を形成してございます。

昨年、奈良支部でブロック会議を開催いたしました。せっかく奈良に来ていただくということで、奈良に因んだ記念の行事ができなにかと考えました。ご承知の通り、紀伊山地の霊場と参詣道が平成十六年に世界文化遺産に登録されましたので、吉野山の住職をされている方にお話ししまして、山伏の心と姿についてお話しいただきました。

今年のブロック会議は大阪の支部にご担当いただき、この六月に開催をし、総勢四十名の参加を見ました。

和歌山支部につきましては、近畿ブロックではいちばん古い歴史がありまして、昭和二十五年に発足しまして出席者は最近は三十名前後ということでありまして、兵庫支部については、県の面積がどうしても広く、全地域の開催を望んでおりますが、特に日本海側の会員の参加をどうするかというところで苦労しております。

京滋支部については、会員は滋賀が百名、

京都府近辺で四百二十名ということでございます。

私も微力ながら近畿は一つになってブロック会議をこれからも根来支部長を中心に盛り上げていきたいと思っております。

■四国ブロック

徳島支部長



佐藤 幸雄

徳島支部長の昭和四十一年法学部卒業の佐藤幸雄でございます。私は昨年の十一月十八日に開催されました徳島支部総会において選

任いただいたところです。私どもの支部総会の発足が平成四年二月でございます。四国は四県であります。オリンピックではありませんが四年に一度、四国ブロック会議の当番県に当たってまいりますので、それに合わせて徳島支部総会を開くという形で最近は定着してきております。

四国ブロック会議は毎年当番県の持ち回りというところで途切れることもなく、当番に当たった県では本当に趣向を凝らし、楽しい意義あるブロック会議が現在まで続けられているところでございます。

今年の分をご紹介したいと思っております。本年の四国ブロック会議は「社団法人宮陵会創立七十周年四国ブロック会議」ということで愛媛県で開催されます。十一月十七日には神奈川大学の創立者米田吉盛先生の記念公園竣工式、除幕式、祝賀会が米田先生の出身地でございます愛媛県の内子町で実施されます。

その会の後、場所を松山市に変えまして、四国ブロック会議が開催されます。その翌日には創立者米田吉盛記念公園竣工記念神奈川大学吹奏楽部松山コンサートが行われる予定です。

愛媛県支部は八木支部長さんを先頭に、その準備でたいへんなことだと思っておりますけれども、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。私も、本当に楽しみにしております。

■九州ブロック

福岡支部長



津田 滋

九州の津田でございます。昭和三十九年の電気工学科の卒業でございます。九州は、北は北九州から南は宮崎、鹿児島、沖縄まで含めまして十一の支部がございます。これらが輪番制でブロック会議を開催しております。ですから、十年に一度、各地方でお世話になっているということですが、したがって、四十代でブロック会議をやれば、次は五十代、六十代と各年代ごとにブロック会議がやって来るというローテーションでございます。

先週、十月十三日の土曜日は長崎が当番でございます。九州ブロック会議イン長崎といたしました開催致しました。長崎の大会は三十一回でございます。したがって三巡目が終わったという位置づけでございます。出席状況は大体八十名から百二十名。平均すれば百名程度です。雰囲気的には、もちろん出席者はネクタイなし、ふだん着、スニーカーでの参加をお願いしております。

九州ブロック会は十一の支部があると冒頭に述べましたが、この中でいちばん活性化している支部は熊本でございます。ホームページの立ち上げ、機関誌の発行をはじめとして特色としましては地区会が、きちんと整備されています。五地区に分け、県北から県南まで整備されています。

次に、全国に先駆けましてCDを製作しました。「宮陵会熊本支部の歌」というオリジナルソングです。それから、慶祝会でございまして。人生の節目の年に当たる還暦、古希、喜寿、米寿などのお祝い事は慶祝会として単独で開催しております。こういう事を含めまして、九州におきましては熊本支部がいちばん活性化しているのではないかなと思っております。熊本支部に負けぬよう、今後とも、皆さま方ともども本会を盛り上げていきたいと思っております。

ありがとうございます。

# 箱根駅伝 予選会観戦記



10月20日、AM7:30西立川駅集合。前から泊まり準備をした。神大ウィンドブレーカーを着ていざ出陣、自然と気合が入る。現地には宮陵会西多摩支部長、支部会員、応援指導部監督、体育会ヨット部監督、現役学生、有志達が多数集まり大変心強く感じた。大学ののぼり、応援集客とも多く、活気もある。

スタート地点では、中島学長が、最前列で陣取り応援。応援指導部、チアリーダー部の応援も堂々として、立派だ。スタート前から勝負は始まっている。他大学の応援に負けられないどころか、素晴らしい応援であり見事だ。後は、レースの応援に集中するだけ。平和記念公園の各ポイントを移動し、ゴール地点へと向かった。5km地点では好タイム。しかし、終盤、15km地点でレースの厳しい情報が入った。タイム通過順位、9位。残り5km。失速したら終わり。不安がよぎった。結果発表まで、30分位は待たされただろう。時間が長かった。もし、箱根へ出場できなかったら、寂しいお正月になると、誰かがぼつりと言った。神大6位通過の発表。今までの不安は一掃された。最後の5kmで順位を上げ、粘り勝ち。集団走の作戦が当たり、タイム以上に良いレースとなった。これぞ、神大本領発揮のレースだ。マスコミ各社は、予選1位通過の中央学院を取り上げたが、一部マスコミは、神大の作戦

を評価した。レース後、監督は地味な泥臭いトレーニングに耐えた学生達を讃えた。今年、本戦でたすきが途切れ17位と惨敗。当時の主力4人が4人も抜け、本当に大変な一年間であつたに違いない。よくぞ、ここまで頑張ってくれた。

レース後、選手、学生、OBと円陣を組み、校歌を歌って予選通過を祝った。戦った学生達の晴れ晴れしい姿、応援した学生達の満面の笑みが目に焼きついた。若者達のこんな嬉しそうに素晴らしい笑顔を見たのは、久しぶりだ。これがあるから応援しつづけたくなる。正月は、卒業生達が声を掛け合い、ほんの少しの勇気と元気を出し、沿道に出てゴールへ集まり応援しよう。本戦では、我々卒業生達が戦う学生達の背中を押す番だ。頑張れ、負けるな、後輩達。期待をしながら、実は君達の事が、心配でたまらない。我々がエールを送るよ。母校の活躍、発展を願わない卒業生はいないはずだ。やはり、永遠に愛すべき、我が母校、神奈川大学である。

(広報副委員長)

昭和58年貿易卒 永田 晴彦



# 本部だより

## 広島支部再建準備委員会設立 及び再建総会開催に向けて

広島支部会員一、三〇〇名(卒業生一、一六七名、準会員一二〇名在籍学生)の宮陵会支部活動は、平成七年に川原太郎支部長が逝去されて以来休眠状態にあり、有志により再建準備委員会を発足し会員相互の親睦を図る。また母校神奈川大学が来年創立八〇周年を迎えるにあたり、大学の維持発展に寄与することを目的とし、合わせて、積年の課題であった中国ブロック会(五県)を立ち上げるためにも広島地域における活動再開が切望されています。

## 創立者生誕の地に

### 記念公園が建立される

神奈川大学の創立80周年記念事業の一環として、創立者米田吉盛先生の生誕の地、愛媛県内子町東自治センターに記念公園が建立されました。町民から募集した愛称は「きずな公園」と命名され、未永く町民に愛され親しまれることでしょう。小公園の中央に創立者の胸像が設置され、その周りにベンチが配されています。また本会から本会設立七〇周年記念事業として金百万円を寄付し公園脇に「山もみじ」を記念植樹しました。町へ寄付された記念公園の総額は約三千万円。創立者は同町の名誉町民であり、ご遺族から寄贈された日本一の鍾乳石による大灯籠が公園脇に設置され



愛媛支部からのお祝「姫だるま」

つきましては、誠に勝手ながら同級生や旧友、ゼミ、クラブ等で再建準備委員会発起人にご協力頂ける方をご紹介下さい。何卒宜しくご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

- 一九年一月中旬 宮陵会報NO・85号に支部再建呼びかけ記載
  - 二〇年二月頃 第一回再建準備委員会開催予定(広島市)
  - 二〇年二月四日 平成二〇年度一般入試(代々木ゼミ広島受験プラザ)
  - 二〇年三月末 中国ブロック会議開催予定
  - 二〇年四月頃 再建総会予定(広島市)
- 問い合わせ先 社団法人 宮陵会  
ブロック組織等特別委員会
- TEL 〇四五―四八一―五六六一  
FAX 〇四五―四一三―〇七九一

ています。

内子町は古い町並みが観光名所となっており蠟燭生産で繁栄した町のなかでも木造の演劇場、内子座が有名。翌一八日曜日には、松山市民会館大ホールにて本学吹奏楽部の山コンサートが開演され、無料招待された九〇〇名の市民・卒業生・中学・高校生らが素晴らしい日本一の演奏に魅了されておりました。また前日開催された四国ブロック会議の参加者からも絶賛され好評のうち終了しました。

### 新支部長紹介

秋田支部 高橋 智徳(44建)  
 因幡支部 中尾 純一(45建)  
 平塚支部 宮川 文隆(42建)  
 高島屋宮陵会支部 佐藤 和子(55短商)  
 みやま電華会支部 入江淳太郎(20電)  
 原陵会支部 中野 健一(45経)  
 神奈川大学陸上競技部OB会支部 木村 嘉谷(39経)

### おわびと訂正

宮陵会報84号のスポーツ課外活動支援特別奨学生の記事中、硬式野球部の浦部剛史君・陸上競技部の柏木直也君の所属部名が入れ替って居りました。謹んでおわびと訂正をいたします。

### 女性会員のつどい

冬の午後、みなと横浜にて楽しく有意義なひとときを過ごしませんか。神奈川大学卒業生(女性)であれば、どなたでも参加できます。皆さんの参加を心よりお待ちしております。

- 日時 平成20年2月17日(日)
  - ①14時~15時 横浜税関見学会
  - ②16時~18時 懇親会(赤レンガ倉庫 BEER NEXT)
- 参加費 5,000円
- 申込み はがき又はFAX 045-413-0791にて宮陵会までお申し込みください。住所・氏名・電話番号・卒年・学科を明記してください。
- ※①、②どちらか一方のみ参加可
- 〆切日 平成20年1月18日(金)
- ※参加申込者には、追って詳細なご案内を差しあげます。

# 支部だより

**香川支部** 「こんな総会・懇親会をやっています！」今日は！宮陵会香川支部です。香川支部総会はこの十年余、箱根駅伝の復路のゴールに合わせた一月三日の午後に開催しております。例年四十名前後の参加をいただいています。当初、会員の参加を少しでも増やしたいとの企画からスタートしたのですが、これも神大の参加があればこそ、この時期に開催ができるもので、選手・関係者の皆様方には大変感謝しています。

当日は総会終了後、箱根駅伝復路の模様を大型TVで鑑賞・応援しながら懇親会を進行していくもので、選手がゴールした後は、参加者から神大や横浜の思い出トークやカラオケ駅伝など軽妙なテンポの中で、交流を深めています。

今回、投稿の機会を与えていただきましたので、この紙面をお借りして、平成二十年の総会等を紹介させていただきます。

※日時 平成二十年一月三日(木)

午後二時

※場所 ホテルニューフロンティア

高松市西の丸町一四一七

※電話 (〇八七)八五二一〇八八

※会費 9,000円

なお、本総会については、香川支部登録の会員の方々には、すでに案内状を送付させていただきました。事務局からお知らせができていない方も大勢おられるかと思っておりますので、この情報をご覧になられた香川在住の神大OBの方々で出席を希望される方は、左記事務局まで早急にご一報いただければと思います。

### お問合わせ先

香川支部事務局 中村郁夫(50貿易卒)

電話 〇九〇一七一四四一六四〇五

### 熊本支部

新春一月二十六日土曜日鶴屋百貨店において午後五時から支部総会を開催予定。昨年は四〇名を超える同窓生が参加し和やかに楽しくひとときを過ごしました。昨年、会員が作曲し総会で支部の歌として認定した「熊本支部の歌」を高らかに歌い、同窓生の絆を深める予定です。参加ご希望の方は支部長中川までご連絡ください。

電話 〇九六一三二四一三二二六

**島根支部** 新春一月二十六日土曜日松江市内のなわ本店にて支部総会を開催予定。箱根駅伝の結果によって出場が決まる出雲駅伝の応援体制などが話題となります。箱根駅伝のシード権奪回が支部の活性化に一役買うので正月の駅伝応援も熱が入ります。二〇年一月は出雲駅伝を県外の会員とともに応援したいと計画しています。

連絡先 支部長 赤水  
電話 〇八五二二二四一〇七五〇

**筑豊支部** 新春二月第二土曜日に恒例となっております支部総会を野上プレジデントホテルにて開催予定。

**三浦半島支部** 新春の箱根駅伝は両日ともに今年も旭・保土ヶ谷区支部、南区支部、磯子区支部の会員と合同でJR横須賀線の保土ヶ谷駅前付近でノボリを立てて応援しています。

一月三日の神大フェスタではふるさとの香りコーナーで同窓生との交流に参加しました。一月二六日土曜午後六時から新年会を横須賀市内のホテルトリニティ横須賀で開催します。男性七千円女性五千円の会費制ですが、同窓生の楽しいひとときを過ごせますのでお待ちしています。

申し込みは事務局鈴木まで  
電話 〇四六一八三五一八七三五

### 神奈川区支部

一月四日の神大フェスタにて「ふるさとの香り」同窓生の交流ブースに協力。学生・同窓生との交流に一



東門前に設置された宮陵会の受付

役員いたしました。箱根駅伝は会員ならびに区内商店街の駅伝ファン一〇〇名以上とJR東神奈川駅前から徒歩三分の沿道に陣取って朝早くから応援体制をとっています。神大ノボリ五〇本が皆様を迎えます。ぜひ一緒に応援しましょう。

**戸塚・栄区支部** 新春の箱根駅伝応援は、戸塚区上矢部歩道橋下のポイントにて神大ノボリ旗印の元応援しています。戸塚駅から徒歩一分国道沿線です。

支部総会は三月一日土曜日に母校で開催予定。当日は午後から全国高校生俳句大賞の授賞式がありますので、この機会に母校で若い感性に触れてみませんか？

**横浜北支部** 箱根駅伝は、横浜駅東口にて学生諸君、同窓生と一緒に大声援を送っています。横浜駅前ですからぜひ一緒に応援しましょう。支部総会は、未定

**藤沢支部** 遊行寺付近にて毎年他大学と一緒に応援合戦のなか母校の選手にエールを送っています。

**平塚支部** 一〇月二八日曜日、快晴の湘南ひらつかキャンパス平塚祭において、同窓生のブース「ふるさとの香り」に協力し同窓生との交流を図りました。前日は季節外れの台風のため出店は止む無く中止しました。立ち寄っていただいた卒業生会員には長崎産みかんを贈呈。同日正午から開催された「平塚ホームカミングデー」にも参加し交流を図りました。

恒例の箱根駅伝応援は平塚駅南口からコーラスに出たポイントで「神大ノボリ」七〇本の元 朝から準備し毎年大声援を送っています。

**秋田支部** 一月九日土曜日午後四時から秋田パークホテルにて、駅伝ビデオを鑑賞しながら懇談する新年会を今年も開催します。男性五千円・女性四千五百円の会費制です。問い合わせは、事務局長の斉藤繁樹まで勤務先パークホテル内

電話 〇一八八六二一一五五

# 大学ニュース



## 第十三回 ホームカミングデー 開催される

去る十月二十一日(日)秋晴れのもと横浜キヤンパス体育館において恒例となった「第十三回ホームカミングデー」が開催されました。

今回は、メインゲストとして卒業後五十年以上(昭和三十三年以前卒)、三十五年(昭和四十七年卒)、二十年(昭和六十二年卒)、十年(平成九年卒)、一年(平成一九年卒)の校友が招待されましたが、それ以外の方々も多く集まり、海外および地元首都圏をはじめ北海道から九州まで、参加数は八百五十余名と会場は熱気に包まれ大活況となりました。またこの日に合わせクラス会、ゼミナールOB会、クラブOB会、女性会員の集い、地域支部長とのふるさと懇談会その他、図書館では特別展「宮面ヶ丘の青春―草創期 横浜専門学校の学園生活―」も同時開催されていました。

式典は、OGであるテレビ山梨のキャスター大西かやさんの司会で始まり、学校法人神奈川大学白井宏尚理事長より大学の現況と来年創立八十周年を迎えることをまじえた歓迎挨拶があり、今年四月に就任した神奈川大学中島三千男学長による学事報告と受験生三万三千人確保のための紹介依頼がありました。その後、メインゲストである卒業生を代表して川名明德氏(昭和四十七年貿易卒)から在校生より今日に至るまでの自己紹介と大学への謝辞があり、ウェル



カムパーティーに移りました。鏡開きに続き社団法人宮陵会狩野七郎会長の声高らかな乾杯発声があり、たぐさんの大きな懇談の輪が各テーブルに広がりました。茶道研究部によるお茶の振るまいや、舞台では全日本吹奏楽コンクールでは他校敵なしの吹奏楽部による演奏、「フオークス」によるメインゲストである昭和四十七年前後の卒業生が在校時代に青春したフオークソングの斉唱があり、一緒に口ずさむ場面もありました。お楽しみ抽選会では卒業生、企業の皆様より多数の賞品が提供され、液晶テレビ、折りたたみ式自転車、デジカメ等の豪華賞品当選番号発表の頃には、各々の声や顔に学生時代に無い戻った表情が出て、大いに盛り上がりました。

荘厳なる應援指導部と華麗なチアリーダーの演技で参加者の目は舞台に一点集中し、なかにはエールを送る方、応援歌を大声で歌っている方が見られました。校歌斉唱となり全員で横浜専門学校校歌、神奈川大学校歌を歌い上げることにりましたが、その中には大きな声でまだまだ若者には負けられんと専門学校校歌を歌う専門学校卒業生、また声を詰まらせつつ歌い上げる方も見えました。ここでフィナーレとなりました。



毎年開催されるこの会も回を重ねるごとに盛会となっておりますが、メインゲストをはじめ、もっと多くの卒業生が家族とともに相集うように、また特に若手卒業生の参加を求めています。「質実剛健 積極進取」の校訓に思いをはせ、ネットワークを広げつつ、母校と卒業生相互の絆を強めて助け合い、益々の発展を見守っていききたいものです。

## 大 神 フエスタ

11月3日、4日の2日間に亘り、今年で第9回目となる神大フエスタが、横浜キヤンパスにて開催されました。当日は、天候にも恵まれ、2日間で2万人もの方が来場するという大盛況でした。親子の祖父母も含め3世代で来場される方も多数いました。神大フエスタでは、在校生が楽しめるものだけでなく、一般の方が参加できる企画や子供向けの企画が多数用意されていて、そのひとつに宮陵会準会員委員会が企画している、わんこそば大会があります。この大会は、注目度の高い企画で、受付前から長蛇の列ができ、受付開始時と同時に募集を締め切るという状態でした。家族で参加する方もたくさん見られました。この大会は、名前の通り、2分間で何杯食べることができるといふ企画です。



最初に、アメリカンフットボール部の4名が全員ユニホーム姿でデモンストレーションを行い、会場は大盛り上がりでした。わんこそば大会が始まると、このイベントで絶対優勝するという意気込みが伝わる学生や一般の方が、すぐに目につき、その方たちにインタビュしてみようと「これには、コッパがあります」「ここで、ヒーローになって会場を沸かせます」などというコメントをいただき、派手なユニホームや顔へのペイントをいただき、大会終了後に、満足した方、来年こそはと思っている方もいましたが、来年度

の神大フエスタでのわんこそば大会を楽しみにしています。

## 平塚祭

今年の平塚祭は、「君がこなきやはじまらない!!」をテーマに、10月27日(土)・28日(日)の2日間開催された。今回で19回目となる平塚祭の初日は、季節はずれの台風に見舞われたため、メインゲートにアーチを設置することもできず、少しさびしい開幕となってしまった。初日は、例年より少ない来客者数であったが、会場を屋外ステージでは、厚生棟内に移して行われたお笑いライブでは、今人気のスピードワゴンをはじめとするお笑い芸人たちが繰り広げるパフォーマンスに時間がかたつのを忘れるほどの盛り上がりを見せた。



2日目は台風一過の見事な晴天の中、初日の遅れを取り戻すかのように、朝から熱気に満ち溢れていた。この日は、宮陵会平塚支部の校友が卒業生を出迎え、多くの卒業生とのパイプ作りの一助を担っていた。また、厚生棟においては、恒例のホームカミングデーが宮陵会協賛のもとに開催された。この会場には、今年の春に卒業した卒業生をはじめとする多くの卒業生や、定年退職された先生方が集い、お迎えした教職員と共に旧交を温めた。湘南ひらつかキヤンパスのホームカミングデーは、卒業生が企画・運営しており、宮陵会の協賛によって学生達が選んだ豪華(?)賞品を巡るビンゴ大会などで大いに盛り上がった。来年は、大学創立80周年・湘南ひらつかキヤンパス開設20周年を迎えることとなり、更なる盛り up を期待したい。

## 準会員ニュース



9月に行われた日本学生選手権大会200m平泳ぎ決勝直前に、チームメイトの山田千夏の準優勝の姿を見た瞬間、あらためて勝ちたいという気持ちが高まったように思いました。ここ最近、悔しい思いをし続けた彼女は誰よりも勝つことに貪欲でした。レースはいつもより前半の100mをとり、得意の後半の100mで2位の選手を置き去りにするといった展開で、見事に学生日本一と7年ぶりの日本新記録更新という偉大な結果を残しました。

この輝かしい姿の影には、新潟の竹村先生に指導していただくために、神奈川を離れて日々の練習に取り組んでいる彼女がいます。仲間や家族とも離れ苦労しているようですが、彼女にはそれに屈しない高い目標と強い意志があります。自分の結果に驕ることなく努力し続ける彼女は、きっと来年4月の予選会でオリンピック出場を果たし、彼女自身の目標でもあるオリンピックでのメダル獲得を果たしてくれることと思います。今後も、皆さんの応援よろしくお願いたします。(法律学科4年 主務 白鳥 一樹)

私は高校でレスリングを始めました。その当時の夢である「オリンピックでメダルを取りたい!」という気持ちは今でも色褪せることなく私の原動力となっています。これまで、ジュニアアジア選手権1位、全日本選手権3位という位置まで達することができ、今年は念願の学生タイトル2冠を獲得することができました。現在は来年に開催される北京オリンピック出場を目指し、日々練習に励んでおります。

私は大学卒業後の就職先に大学事務職員の道を選びました。競技で培った経験を生かし、後輩の役に立ちたいと思ったからです。もちろん、社会人となっても仕事とレスリングを両立してゆきたいと思っています。これからも夢を追い続け、必ず叶えたいと思います。今後もレスリング部への応援宜しくお願い致します。(国際経営学科4年 峯村 亮)



私は高校2年生でボウリングの日本代表メンバーに選出されました。そのとき掲げた目標は、全日本選抜選手権(NHK杯)優勝、4年に一度開催されるアジア競技大会での金メダル獲得、2年に一度開催される世界選手権でメダルを獲得するというものでした。

昨年、全日本選抜選手権で優勝することができ、アジア競技大会の5人チーム戦で金メダルを獲得し目標を達成できたことは、今までボウリング競技をやってきて味わったことのない喜びでした。

来年、国内での大会はもとより、アメリカ(フロリダ)で開催される世界ユース選手権、タイで開催される世界選手権などの国際大会に出場し、金メダル獲得という目標達成に向けて全力で頑張りたいと思います。今後とも応援よろしくお願いたします。(自治行政学科3年 佐々木智之)

私は全日本選抜選手権大会でアジアショートトラック選手権大会(台北)の日本代表となりました。今年度初の国際大会なので、前回に続き入賞を目指したいと思っています。私は世界ジュニアの代表になった翌年、レジャーから代表枠を外れた悔しい経験があります。このままではいけないと、神奈川大学入学を機に新たな気持ちで練習に取り組み翌年代表入りを果たしました。6週間連続試合で体験した体調管理の大切さ、W杯出場で感じた世界トップとの実力の差。今後は、再来年に行われるオリンピックに向けて、今までの経験と大学の授業で学んだ知識と実践での技術・体力・精神力の強化に活かし、日本代表になる夢を実現させたいです。皆様の、応援をよろしくお願いたします。

(人間科学科2年 坂下 泰子)



私は、小学校1年生からボウリングを始め、今年で12年目になります。高校2、3年にアジア大会で優勝できたことが、現在全日本ナショナルメンバーとして、海外の大会に参戦することが出来たきっかけです。

今秋は、ボウリングのワールドカップの国内予選で優勝し、世界大会(ロシア)へ行ってきました。世界のボウラーと交流できて良い経験が出来ました。次回のチャンスがあれば、世界の選手と対等に戦える力を付け、メダルを取り、同時に国際交流もしたいと思っています。

目標は、世界の選手と対等に対戦できること。そして、実践で使える英会話を身に付けることです。大学生活の中でボウリングに対する考え方が変わっていくと思いますが、ボウリングだけでなく、いろんな体験をして大学生活を送っていききたいと思っています。(人間科学科1年 蒲ヶ原杏子)

我々体育会サッカー部は、今年の関東リーグ2部において2位以内に入り、アマチュアサッカー界の最高峰である関東リーグ1部への昇格を決めました。一昨年は最終節、昨年は第21節、共に終盤で失速し昇格を逃す経験をしたことが生きて、今シーズンは堅い守備と安定した戦いで昇格を決めました。支えてくださる皆様、先輩方が築き上げてくださった歴史、幾多の想いがあったからこそ1部昇格ができたのだと思っています。1部昇格はあくまでも通過点です。ここから続く長く険しい道程を乗り越え、来季は1部残留を目標にするのではなく、日本一を目指して戦います!! 全力で戦う体育会サッカー部に更なるご支援、ご声援をいただきますようよろしくお願いいたします。

(経済学科4年 主務 矢澤健志)



初めに今年度関東学生秋季リーグ戦において、今まで歴代の卓球部で成しえなかった2部に昇格することができました。私達卓球部は、3部総合優勝・2部昇格という目標を掲げてきました。しかし、10年以上3部という大きな壁に阻まれ続けてきました。そこで去年から、本格的に練習時間を延長するなど、昇格に向けて、より一層努力してきました。練習は、週6日行い、ほぼオールシーズン行ってきました。そして、主将大矢が部にスロウガンとして掲げている「チーム力」が小さな個人の力から大きなチームとしての力、そして勝利に導かれるように昇格することができました。また欠くことのできないことはOBの先輩たちの存在であります。普段の練習などに指導や激励するために足を運んでくれることが励みになりました。

最後に、未知の世界に飛び込んでいく中で、「チーム力」の向上さらには、新たな目標の2部優勝に躍進していけるよう精進していきますので応援の程、宜しくお願いいたします。

(電気電子情報工学科2年 主務 山口 祥昌)